

事項	バラ養液栽培のアーチング法における同化専用枝の管理方法
ねらい	バラ養液栽培のアーチング法における同化専用枝の管理方法は、生産者ごとに異なり様でない。同化専用枝の管理方法と収量、切り花品質との関係が明かとなったので、参考に供する。
指導 参考 内容	<p>1 同化専用枝の仕立本数 高規格の採花本数は同化専用枝の葉面積指数に影響され、約2.0まで増加する。しかし、同化専用枝の仕立本数を増加しても葉面積指数はこれ以上に増えない。20株/3.3㎡の栽植条件のアーチング法における最適葉面積指数は1.8～2.0と考えられ、同化専用枝はローテローゼでは2本、ノブレスでは4本で確保できる。</p> <p>2 同化専用枝の更新 同化専用枝が新梢のみでは葉面積が減少し、収量及び切り花品質が低下する。したがって同化専用枝の不要な更新は避け、できる限り古枝を活用した方が良い。</p> <p>3 留意事項 (1) 本試験では調査開始時の同化専用枝は60cm以上の長さの枝を用い、以降に発生する弱小枝（長さ40cm未満）は折り曲げた。 (2) 品種によって個葉の葉面積と着生枚数が異なるので、本結果を目安として増減する。葉面積指数1.8～2.0は実際に葉が均一に2枚重なっている状態である。 (3) 本結果は2条植え、同化専用枝を片側倒して行ったものであるが、栽植様式が異なる場合でも栽植密度を基本に目安とする。</p>
期待される効果	アーチング法における切り花品質の向上と増収
利用上の注意事項	
担当	フラワーセンター21あおもり 栽培開発部 対象地域 県下全域
発表文献等	平成14年度 フラワーセンター21あおもり試験成績概要集 平成14年度 東北農業研究成果情報

【根拠となった主要な試験結果】

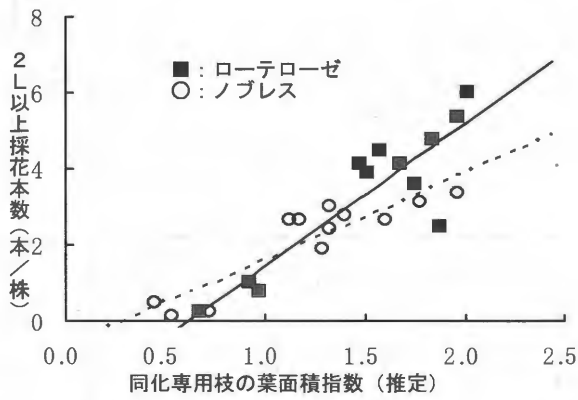


図1 同化専用枝の葉面積指数と収量の関係

(平成14年 フラワーセあおもり)

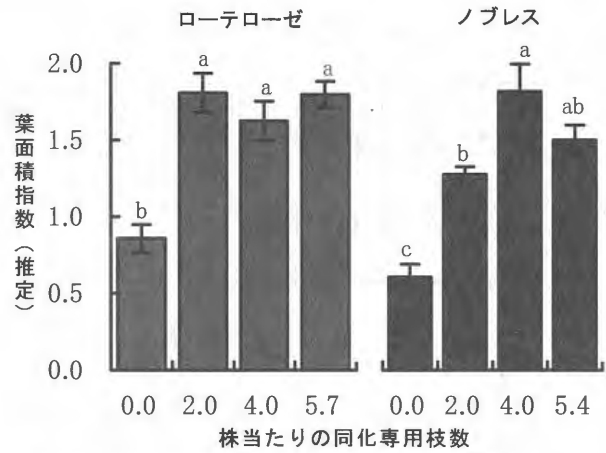


図2 同化専用枝数と葉面積指数の関係

(平成14年 フラワーセあおもり)

表1 同化専用枝の本数と収量・切り花品質

(平成14年 フラワーセあおもり)

試験区	採花本数 (本/株)	切り花長 (A:cm)	切花重 (B:g)	B/A×10 (g/10cm)	総収穫重 (g/株)	2L以上本数(本/株)
ローテローゼ						
0本 (0.0)	6.9 b	57.2 b	22.2 b	3.8 b	153.5 b	0.7 b
2本 (2.0)	12.0 a	67.0 a	31.4 a	4.6 a	375.4 a	5.1 a
4本 (4.0)	9.7 a	65.6 a	31.7 a	4.7 a	307.3 a	3.5 a
6本 (5.7)	11.0 a	66.2 a	31.2 a	4.6 a	342.5 a	4.3 a
分散分析	**	**	**	**	**	**
ノブレス						
0本 (0.0)	5.1 c	55.0 b	26.2 c	4.7 c	133.2 c	0.3 b
2本 (2.0)	8.0 ab	63.2 a	33.0 b	5.1 bc	263.8 b	2.4 a
4本 (4.0)	8.8 a	65.3 a	37.6 ab	5.5 ab	327.7 a	3.1 a
6本 (5.4)	6.4 bc	66.9 a	40.9 a	5.9 a	262.4 b	2.7 a
分散分析	**	**	**	**	**	**

(注) 1 試験区の () 内の数字は試験開始時の実際の仕立本数で、以降発生する弱小枝(長さ40cm未満)は折り曲げた
 2 調査期間;平成14年5月~10月
 3 分散分析の結果は、*; 5%危険率、**; 1%危険率で有意差ある、ns; 有意差ないことを示す
 4 表中の同一英小文字間にはTurkeyの多重範囲検定による有意差(5%危険率)がないことを示す

表2 同化専用枝の新旧と収量・切り花品質

(平成14年 フラワーセあおもり)

試験区	採花本数 (本/株)	切り花長 (A:cm)	切花重 (B:g)	B/A×10 (g/10cm)	総収穫重 (g/株)	2L以上本数(本/株)
ローテローゼ						
新	10.3	64.3	27.5	4.2	281.7	3.4
旧	12.0	67.0	31.4	4.6	375.4	5.1
分散分析	ns	ns	*	*	*	*
ノブレス						
新	6.5	60.3	32.5	5.2	213.1	1.4
旧	8.0	63.2	33.0	5.1	263.8	2.4
分散分析	ns	ns	ns	ns	ns	ns

(注) 1 試験区の新は新梢主体、旧は前年までに発生した古枝主体で、調査開始以降に発生した弱小枝は折り曲げた
 2 調査期間;平成14年5月~10月
 3 分散分析の結果は、*; 5%危険率、**; 1%危険率で有意差ある、ns; 有意差ないことを示す

耕種概要

定植時期:平成12年5月12日、6月18日 栽植密度:20株/3.3㎡ 仕立時期:平成14年4月17日